

評価年度

令和 7 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町西部児童館
指定管理者名	特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘
指定期間	令和5年4月1日～令和 9 年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	・場 所：利府町菅谷台三丁目16番地 ・敷地面積：1,465.86㎡ ・建物概要：鉄筋コンクリート造 2 階 建築面積 393.95㎡ 延床面積 512.03㎡ 駐車場 16台 駐輪場 17.64㎡ ・主な施設：乳幼児室、児童クラブ室、図書・集会室、調理・工作室、遊戯室
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
前年度来館者数合計(人)	18,562	18,876	18,649	20,005	
今年度来館利用者数合計(人)	18,876	18,649	20,005	17,418	

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	児童館事業の参加数(人)
指標式と指標の説明	児童館事業（「子育て広場」を除く）に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目標値(人)	1,338	1,879	2,181	3,238	
実績値(人)	1,879	2,181	3,238	3,385	
達成度(%)	140.4%	116.1%	148.5%	104.5%	#DIV/0!

指標2

指標名（単位）	子育て広場利用者数（人）
指標式と指標の説明	児童館事業「子育て広場」に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(人)	702	693	727	1,071	
実績値(人)	693	727	1,071	1,288	
達成度(%)	98.7%	104.9%	147.3%	120.3%	#DIV/0!

評価（5段階）	評価理由
S	菅谷台小学校の児童数は令和3年度から徐々に減少し、令和7年度には令和3年度より約100人減少、同様に利府西中学校の生徒数も減少傾向にあります。それに伴って小中高生の児童館への来館及び行事への参加も減少傾向にはあります。乳幼児親子の来館は、Instagramでの呼び掛けの効果により、少しずつ増加しています。特に子育て広場の利用者が増えていました。乳幼児数・組数どちらも増加しており、曜日に限らず夫婦と子どもで過ごすケースが多く見られました。その居心地の良さが、児童館行事への参加にもつながっていたのではないかと考えています。

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業

① 児童館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館 (児童健全育成事業) (地域交流推進事業)	4月～3月	「こどもの笑顔と元気な声がひびく児童館」を目標に掲げ、0歳から18歳までの全てのこどもの心と身体健康増進及び知的な適応能力や社会的適応力の高まりを意識した事業を展開します。
児童クラブ (放課後児童健全育成事業)	4月～3月	全てのこどもが安心して過ごせる居心地の良い場所となるように環境を整え、こどもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるようにします。そして、こども一人ひとりの自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等に努めるとともに、こどもの最善の利益を考慮して育成支援を推進します。
子育て広場 (子育て支援事業)	4月～3月	親がこどもが遊ぶ姿をゆったり見つめたり声を掛けたりしながら、我が子の成長を改めて確認できるような、ほっとできる空間と広場を提供します。時には出会った親子と交流したり、時にはゲストのおはなしを聞いたりしながら、子育ての楽しさを実感できる有意義な時間となるような事業を展開します。

(2) 提案事業

① 児童館 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
小中高生企画 みんなであそぼう	5月～2月	こどもボランティア（りふボラ：小学生4年生～高校生）のこどもたちの「これをやりたい」「これをやったらみんなが楽しんでもくれる」の企画提案意見を吸い上げ、季節にちなんだ制作活動や集団遊びなど、みんなが楽しめるイベントを実施します。
小中高生企画 りふボラ定例会	5月～3月	利府町西部児童館（りふ～る）をスタッフと一緒に盛り上げていくことを目的に結成されたこどもスタッフです。児童館行事の手伝いや自分たちで企画した行事を実施します。こどもボランティアは、自主的に楽しみながら活動することを目指します。
中高生タイム	4月～3月	月曜日から土曜日の17時～17時50分、遊戯室で自由に遊んだり、工作室で勉強したりすることができます。
児童館に泊まろう	7月26日（金）～ 7月27日（土）	利府町で育ったこどもが、世代を越えて交流できる場をつくります。いつも利用している児童館で非日常な時間を過ごし、世代を越えて交流できる時間と場をつくります。
ハロウィンおばけやしき	10月	ハロウィンは、こどもたちがとても楽しみにしているイベントです。こどもたちは仮装して参加し、おばけやしきを体験します。
こどものまちinりふ	11月23日 （日）	利府町が主催する第13回「こどものまちinりふ」を共催者として実施します。イベントを通してこどもたちは「あそび」「働き」「学び」など疑似体験し、子どもと子どもが出会う、子どもと大人が出会う遊びの場を通して異年齢の交流の場とします。
りふ～るシアター	1月	遊戯室のカーテンを閉め切り、電気を消してスクリーンとプロジェクターを使用した映画館。りふボラはお手製チケットとポップコーンを作り、アナウンスを担当して映画もセレクト。映画館の甘い匂い、薄暗いわくわくとした空間をつくり上げ、参加者は映画を楽しみます。
じどうかんまつり	2月	今年のテーマは「ハート！」友達大好き、お父さんお母さん大好き、赤ちゃん大好き。バレンタインデーにちなんでみんなのハートがあったかくなるまつりを実施します。
保育所交流	5月～12月	相互の施設の特色を活かしながら保育所と児童館が交流することで、地域の子育ての実状把握や情報交換などが密に行われるようになることを期待し、地域の乳幼児親子の育ちを、町とNPOで支援するしくみの構築につなげていきます。

②児童クラブ 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
グランディにいこう	4月28日（月）	いつもは児童館の遊戯室で遊ぶことが多いので、振替休業日に総合運動公園に出掛け、「ふれあい広場」、「遊具広場」、「芝生広場」などで思い切り身体を動かしたり豊かな自然に触れたりしながら仲間と交流します。
野菜を育てよう	5月～10月	直接土に触れ、自分の手で野菜の苗を植え、日々の水やりを通して成長を見守る体験を通して、好奇心や観察力を育成します。
わんこそうめん	7月18日（金）	小学校一学期の終業式の日、交流を兼ねて、地域の更生保護女性会の方々のお手伝いをいただき、暑さを吹き飛ばしてそうめんを涼を感じる行事を行います。
水遊びweek	8月4日（月）～8日（金）	暑い夏に水の冷たさを感じ、仲間やスタッフと一緒にルールを守りながら、安全に遊ぶことを意識し、水鉄砲や水風船を使いながら水遊びをします。
六角返しをつくろう	8月19日（火）	夏休みのひとコマ、更生保護女性会の皆さんと一緒に「六角返し」をつくりまします。
人権擁護運動	10月24日（金）	人権擁護委員の皆様から、人権についてお話を聞き、花苗をプランターに植え替えます。小学生が協力して草花を育てることによって、生命の尊さを実感できるようにしたり、誰もが自分らしく幸せに生きるための権利について学んだりします。
大掃除大作戦	12月26日（金）	児童館の年末の恒例行事です。新年を迎え、児童館に遊びに来た人が気持ち良く部屋やおもちゃを使えるように、みんなで協力して大掃除をします。
りふーる駄菓子屋さん	3月24日（火）	春休みのおやつの時間にお楽しみの時間として実施します。りふーる駄菓子屋さん限定のお金「ふーる」を使い、計算しながら自分の好きなお菓子を選んで購入します。4年生以上は店員役を担い下級生との関わりや言葉選びの大切さを学びます。

③子育て広場 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
『はい！タッチ』 ・きら☆リズム ・ナーサリーひろば	5月～3月	「きら☆リズム」は、リトミックの先生に来ていただき、親子で身体を動かして音を楽しむ機会とします。「ナーサリーひろば」は、英語の先生に来ていただき、わらべうたや絵本で楽しく英語にふれる機会とします。
おはなしのへや	5月～3月	スタッフやいろいろなゲストが、絵本・紙芝居の読み聞かせやわらべうたなどの触れ合い遊びをして、“こどもを言葉でかわいがる”ことを実感する場をつくりまします。
（登録制）幼児クラブ	5月～2月	幼児クラブでは、集団での遊びを通して、こどもの健やかな成長と子育ての仲間の輪を広げていくことを目的としています。乳幼児親子が楽しく遊びながら地域で友達を作り、孤独な子育てをしないように支援します。親子の「こんなことをしたい！」の願いも取り入れながら活動します。
にこにこタイム	5月～2月	親子の触れ合い遊びをテーマに、季節に合った遊びや制作を行います。

(3)自主事業

主な事業名	実施時期	内容
からだであそぼう	5月～9月	音楽に合わせて自由に身体を動かしながら遊び、感情や自己表現力を養います。(リトミック)
ニュースポーツであそぼう	6月	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に自由に楽しめるニュースポーツを体験し、心身のリフレッシュや仲間づくりを楽しみます。
犬と仲良くなろう	10月	特定非営利活動法人 エーキューブの協力を得て実施。犬との触れ合いを通し、動物(犬)のあたたかさを体感し、命の大切さを知ることを目的としています。
マグロを学んで美味しく食べよう	10月	塩竈のマグロを例に、漁獲から魚市場を経て流通し、食卓に届くまでのことを知ることを通して、こどもたちが、魚と人間と環境への循環について興味・関心を持つことをねらいとしています。
プラ板制作をしよう	11月	芸術の秋です。プラ板に、油性ペンで好きなキャラクターを描いてトースターで焼きます。くると縮んで平らに伸びたら完成です。制作の楽しさを味わいます。
お楽しみ会をしよう	12月	得意なこと、できるようになったこと、みんなに見てもらいたいことなど、発表内容は自由。個人でもグループでもどちらでもOK。みんなに見てもらって、聞いてもらって、みんなで笑顔になることがねらいです。
クリスマスキーホルダーをつくろう	12月	クリスマスの季節を感じながら自分だけのオリジナルキーホルダーを制作します。また、友達と、プラ板やレジンを使って制作することの楽しさを共有します。
ジュニアリーダーとあそぼう	12月	中高生と小学生の交流をねらいとし、ジュニアリーダーの活動の場として企画します。ジュニアリーダー(十符っ子)主体のゲームを通じて、こども同士の交流を図ります。
むかしあそびにトライ!	1月	地域のシルバーライフの皆さんと一緒にむかしあそびを楽しみます。おはじき、こま回し、紙ひこうき、お手玉、けん玉をしながら地域の皆さんと交流を深めます。
評価(5段階)	評価理由	
S	利府町西部児童館は、利府町西部地域を主とする利府町のこどものための児童館です。こどもが自らの意思で利用し、自由に遊んだりくつろいだりと、異年齢のこども同士が常に一緒に過ごすことができている。また、遊戯室で遊んでいる高校生が、「混ぜて」と言った小学生を「いいよ」と受け入れた姿から、当児童館スタッフの児童の遊びを指導する姿勢が妥当であることも確信しました。乳幼児親子に対しても、常にそばで見守り、声を掛け、乳幼児親子の交流支援をしてきました。利用人数が大きく増加しているわけではありませんが、利用者からの信頼が増していると感じています。私たちは、0歳から18歳のこどもの地域における育ちを支える立場であり、成長に応じて遊びを通じた健全育成のための事業を展開していかなければなりません。このことをしっかり念頭におき、今後の事業についても考えていきたいと思ひます。	

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	2月に管理運営団体より、児童館・児童クラブ利用者アンケートを実施しました。 (対象者：自由来館者、児童クラブ利用者) クラブ保護者と小中学生の自由来館者33件、乳幼児親子4件が回答	児童
目標値の基準	本部作成のQRコードを読み取る形で50%を目標にして実施	

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(%)	40.0%	40.0%	50.0%	50.0%	
実績値(%)	53.0%	25.0%	60.0%	50.0%	
達成度(%)	132.5%	62.5%	120.0%	100.0%	#DIV/0!

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容

評価（5段階）	評価理由
A	どの質問においても、「とてもいい」、「まあまあいい」の肯定的な回答が多く、その理由として様々な行事・イベントがあることや、気軽に話したり相談にのったりできるスタッフの対応の良さについてふれていました。中学生だけが過ごせる部屋がほしいという意見が1つありましたが、部屋の常設は難しい為、来館した際に遊戯室の優先使用時間を設けたり、部屋の一部を区切って使用できるようにするなど配慮していきます。

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

項目	令和7年度予算	令和7年度決算	予算決算比
収入 (a)	43,753,000	43,753,000	0
指定管理料	43,753,000	43,753,000	0
利用料金収入			0
(うち、減免補填額)			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出 (b)	43,753,000	43,753,000	0
人件費	31,480,000	32,418,929	-938,929
事務事業費	5,360,000	3,716,268	1,643,732
維持管理費	950,000	738,707	211,293
その他の支出	5,963,000	6,879,096	-916,096
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考			

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	指定管理者の財務状況について、大きな問題は見受けられなかった。
------	---------------------------------

評価 (5段階)	評価理由
B	全体の収支としては指定管理料の範囲内ではあるが、人件費にかかる支出が予算よりも多くなっていたので適正な財務管理を求める。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町保健福祉部子ども支援課職員が、現地調査によるヒアリング及び資料や施設を確認・実施。
実施時期	令和8年6月19日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	不適正	各台帳等が適正に管理されていなかった。
危機管理	適正	
人員配置・地元活用	不適正	昨年指摘した、新しい地域交流団体、町内保育所・幼稚園等との交流が見られなかった。
現金管理	適正	
会計・経理	不適正	指定管理料の範囲内ではあるが、人件費にかかる支出が予算よりも多くなっていたので適正な財務管理を求める。
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	適正	
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
無	不適正な項目が3項目あったため。

評価（5段階）	評価理由
D	管理業務、地元活用、会計・経理の3項目について適正ではなかったため、改善を求める。

8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

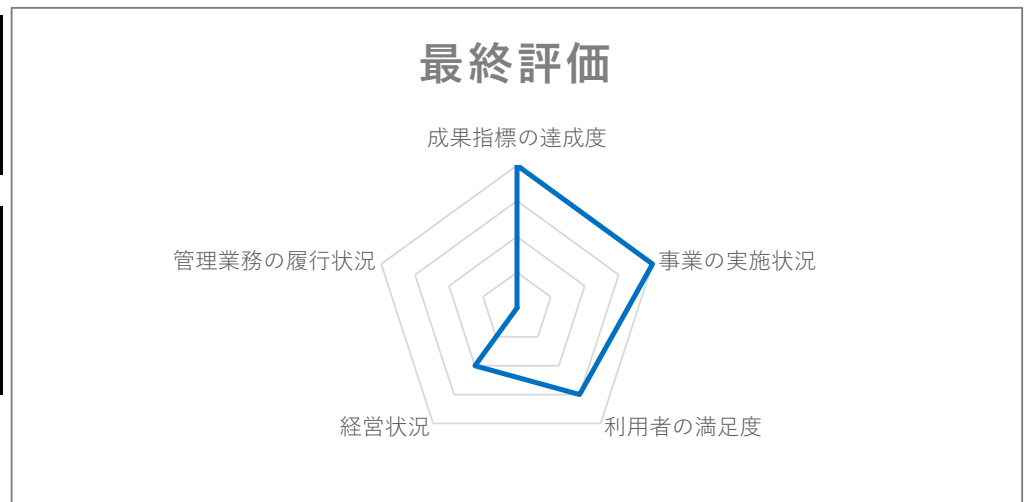
自己評価点数	改正ガイドラインを念頭におき、その理念や目的、運営基準を常に意識し、それに沿うように日々の事業計画や職員体制、こども対応、地域連携等を具体的に運営に反映させるよう努めてきました。特に児童の権利条約や児童福祉法の理念に基づき、こどもの最善の利益や健やかな成長を重視することに意識して4事業（児童健全育成事業・子育て支援事業・地域連携事業・放課後児童健全育成事業）を展開してまいりました。当児童館は、「こどもの笑顔と元気な声が響く児童館」を目標に掲げております。どの事業においても0歳～18歳までのこどもはもちろんのこと、乳幼児と一緒に来館された保護者や様々な事業に携わってくださった地域の方々など利用者の皆様の笑顔を、こどもたちの笑顔と共に見ることができました。利用者の笑顔は職員（スタッフ）の笑顔と元気の源になっています。今後も全利用者の声を聞き、居心地の良い児童館になるよう努めてまいります。
81	
自己総合評価	
S	

9. 所管課意見

子ども達の「やってみたい」という声を大事にしながら、各種事業を行っており、多くの方々に参加して頂いていた。イベントを実施するにあたり、スタッフだけではなくこどもボランティアもうまく活用しながら、事業を展開していた。SNSも活用しながら、普段の児童館の様子や子どもたちの表情などを広く発信できていたので、引き続き積極的に発信してほしい。 なお、昨年のモニタリングで「現状に満足するだけではなく、新しい地域団体、町内保育所・幼稚園、さらには中高生等との等の交流を今まで以上に積極的に行ってほしい」と指摘していたが、今回のモニタリングでは新たな地域団体、町内保育所・幼稚園等の交流は見られなかった。安定した運営は勿論のことではあるが、新たにチャレンジすることで、今まで利用したことがなかった子ども達や、中高生の利用者増へ繋がると思うので、今まで以上に新しい地域団体や町内保育所・幼稚園等の交流をぜひ積極的に実施してほしい。 併せて、西部地区は利府西中学区（利府二小・菅谷台小）が対象となることから、菅谷台小学区のみならず利府二小学区の子どもの利用が増えるように働きかけてほしい。

最終評価

総合点数
65
最終評価
B



1. 事業実施状況

(1) 指定事業 ※各事業の詳細は別添事業報告シートを参照のこと

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
児童館 （児童健全育成事業） （地域交流推進事業）	24回	24回実施。「こどもの笑顔と元気な声がひびく児童館」を目標に、地域の方々や関係機関と手をつなぎ、常にこどもたちの居心地の良い居場所づくりについて考え実践してきました。児童館でしかできない切れ目のない支援、心と身体の健康増進、適応能力や社会的適応力の高まりを意識しながら全てのこどもたちと関わり、たくさんの笑顔に出会うことができました。	◎	◎
児童クラブ （放課後児童健全育成事業）	15回	16回実施。（3月に「選挙出前授業」が入り予定より1回増。）利府町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、対象となる児童を日々適切に受入れ、その育成支援に取り組みました。特に、健全育成を図るため、こどもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備や安全面の配慮をしながら、こどもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるよう努めました。児童クラブ行事については、こどもの気持ちや希望を取り入れるように心掛け、「児童館は楽しい」、「明日も行きたい」そんな気持ちの醸成・高揚も期待して企画・運営しました。	◎	◎
子育て広場 （子育て支援事業）	37回	家庭ではできない遊びや同年齢・異年齢のこどもの遊びなど、安全な環境のもと、伸び伸びと自由に利用できる場を提供しました。また、保護者の声に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら話し相手となり、心地良い環境づくりを心掛けて親子と接しました。新規利用者やリピーターが増え、来館者同士の交流も多く見られるようになりました。	◎	◎
評価点			9	9

(2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
小中高生企画 みんなであそぼう	7回	延べ104人参加。月に1回、小学生を対象に様々な行事を企画し、参加したこどもが楽しい時間を過ごすことができるものを実施しました。こどもたちの「やってみたい」の声を吸い上げて、身体を動かす遊びや制作など、様々な活動に取り組みました。	◎	○
小中高生企画 りふボウ定例会	10回	延べ87人参加。保育所交流のお手伝い、納涼祭の看板作り、ハロウィンおばけやしきのこどもスタッフ、りふボウ企画「スノードームを作ろう」などで力を発揮し、活躍しました。どの活動でも主体的に活動し、こどもたちは達成感を得ることができました。	◎	◎
中高生タイム	通年 月～土	139回実施(来館)、延べ700人。2人で来ることもあれば、数人で待ち合わせして来たりと、自由に来館し、遊戯室でドッチボールやバドミントンをしたり、工作室で勉強しながらおしゃべりしたりと楽しく過ごしていました。中高生の平日の来館は多くはないですが、乳幼児さんが工作室で遊んでいるときには、小学生と一緒に2階のクラブ室で過ごし、勉強を教えてあげたり遊んであげたりすることもありました。	◎	○
児童館に泊まろう	1回	7月26日（金）～27日（土）1回実施。24人参加（小学生22人、中学生2人）土曜日の17時に集合し、みんなで楽しく過ごすためのルール確認からスタートです。夜ごはんはハヤシライス、朝ごはんはパンケーキ、みんなで協力してつくりました。夜は花火をして夏の思い出をつくりました。夜も友達と遊びたい、一緒にいたい、そんなこどもたちの希望がかなったお泊り会になりました。	◎	◎
ハロウィンおばけやしき	1回	小学生25人、乳幼児親子8組参加。小学生も乳幼児親子も仮装して参加しました。広い遊戯室をお化け屋敷に変身させて面白さと怖さを融合させました。「トリックオアトリート」の合言葉が響き、ハロウィン雰囲気満載のお化け屋敷を満喫するとともに、小学生と乳幼児が交流する姿も見ることができました。	◎	○
こどものまちinりふ	11月	利府町の小学生185人が参加。（菅谷台小学校のこどもは23人）モルタルショップ、カーショップ、カフェ、ケーキハウス、フラワーショップなどで利府町の仕事を体験しました。働いた後は銀行から給料を受け取り町で遊ぶ体験もしました。参加したこどもからは、「疲れたけど楽しかった」、「今度も参加したい」の声を聞くことができました。	◎	○
りふーるシアター	1回	31人参加。児童館の部屋に大きなスクリーンをセットし、シアターの雰囲気を感じ出したことで、参加者は映画が始まる前から心躍る様子でした。係のこどもたちは、手作りチケットを作ったり、入口で受付をしたり、アナウンスをするなどして活躍しました。児童館がすてきなシアターになりました。	◎	○
じどうかんまつり	1回	延べ166人参加。年に一度の「じどうかんまつり」、テーマ「ハート」にちなんで会場をハートで埋め尽くしました。来場者が166人と大盛況で、帰り際に多くの方から「とても楽しかったです。また来たいです。」の声をいただきました。地域の自然塾や更生保護女性会の皆さんのお手伝いもいただき、こどもから大人までみんなが楽しむことができました。まつりになりました。	◎	◎
保育所交流	4回	4回で乳幼児56人、大人23人、こどもボランティア4人参加。1回目(5/9)は保育所のすいか組のこどもが児童館を訪問し、館内を見学した後、ゲームをして遊びました。2回目(7/1)は児童館で参加希望者を募集して保育所を訪問、3回目(7/30)は保育所のすいか組のこどもが児童館に来館し小学生と交流しました。4回目は「おはなしのへや」の特別企画「クリスマススペシャルおはなし会」にすいか組のこどもを招待しました。一般参加のこどもたちとすいか組のこどもたちの年齢が離れていましたが、サンタクロースの演技効果もあり、良い交流をすることができました。保育所訪問「保育所へ行こう」の企画は、参加者から好評でした。	◎	○
児童クラブ事業				
グランディにいこう	1回	18人参加。同じタイミングで保育園のこどもが遊びに来ていましたが距離を保ちつつ、遊具や場所を譲り合って伸び伸びと遊ぶ事ができていました。帰り道には疲れた表情でしたが、児童館に着いてからは心も身体も満たされた様子でした。	◎	○
野菜を育てよう	4回	苗植え2回、収穫2回、延べ55人参加。こどもたちは4月にじゃがいもとさつま芋の苗を植えて、日々、草取りや水やりをして成長を見守りました。7月にはじゃがいも、10月にはさつま芋をたくさん収穫することができました。	◎	◎
わんこそうめん	1回	53人参加。更生保護女性会（3人）の方がお給仕さん。「はいじゃんじゃん、はいどんどん」の掛け声でこどもたちのお椀にそうめんを入れていきました。地域の方々と笑顔で交流することができ、大盛況の行事になりました。	◎	◎

水あそびweek	1回 (5日間)	8/4日：43人、8/5日：36人、8/6：中止、8/7日：35人、8/8日：28人参加。テラスで水鉄砲や水風船を使って水遊びをしました。バケツの水をかぶったり、ホースで水を掛けたりしながらスタッフも子どもたちも濡れになって楽しみました。	◎	○
六角返しをつくろう	1回	小学生34人参加。更生保護女性会3人の方に教えていただき、折り紙で六角返しを作りました。子どもたちは、3つの面に描いた絵を折り返していくと次々と絵が変わっていくのでびっくりしていました。低学年の子どもには少し難しかったようですが、頑張って上げることができました。	◎	◎
人権擁護運動	1回	人権擁護委員の方4人、小学生24人参加。花の苗をプランターに植える活動を行った後、紙芝居風にスクリーンに映し出された画面を見ながら、人権についてのお話を聞きました。いじめの話聞いた後には、「悲しい気持ちになった。」と話す子どももいました。昨年は人権に関する〇×クイズでしたが、お話をじっくり聞く事を通して大切なことがこどもの心に響きました。	◎	◎
大掃除大作戦	1回	29人参加。日頃使用している児童館、児童クラブの活動を振り返りながらグループに分かれて部屋ごとに掃除をしました。みんなで取り組む心地良さを実感した子どもがたくさんいました。	◎	○
りふーる駄菓子屋さん	1回	41人参加。「こどものまち」のりふーるミニ版のイメージです。上学年が店員さん、下学年はお客さんになり、模擬紙幣を使って買い物を実験しました。お気に入りの駄菓子を買って満足してお金が残っている子ども、くじ付きのお菓子をたくさん買って当たりのない子どもがいましたが、約束を守って仲良く遊ぶことができました。	◎	○
子育て広場事業				
『はい・タッチ』 きら☆リズム・ナーサリー広場	7回	延べ80人参加。リミック講師の音楽遊び「きら☆リズム」、英語講師の英語のわらべうた遊び「ナーサリー広場」を行いました。「きら☆リズム」では、音楽に合わせて身体を動かしながら親子の触れ合いを楽しみました。「ナーサリー広場」では、講師の英語の指示に合わせて、こちょこちょ遊びや動物のなき声遊びなどを楽しみました。	◎	○
おはなしのへや	10回	延べ119人参加。スタッフやいろいろなゲストが、絵本・紙芝居の読み聞かせや手遊び、スカーフ遊び、わらべうたなどの親子の触れ合い遊びを通して、親がわがこを愛おしく思う気持ちを伝える場になりました。	◎	○
(登録制) 幼児クラブ	9回	延べ124人参加。7月は「七夕遊び」、11月は「運動遊び」、1月は「絵馬を作ろう」などを行いました。回を重ねるごとに友達が増え、「運動遊び」のダンスの中では、楽しく踊りながら友達とうれしそうにタッチするこどもの笑顔をたくさん見ることができました。	◎	◎
にこにこタイム	11回	延べ94人参加。親子の触れ合い遊びをテーマに、季節にちなんだ遊びや制作活動などを行いました。8月の「水遊び」や9月の「ミオリジナルミニトートバッグを作ろう」への参加者が多く、水遊びでは、こどもがタライの水の冷たい感触を楽しんだり、水遊び玩具で親子で水をかけ合って楽しんだりする姿が見られました。	◎	◎
評価点			63	51

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
からだであそぼう	5月～9月	4回実施、28人参加。音の長さを意識していろいろなリズムに合わせて身体を動かして遊んだり、音楽のフレーズに合わせて8カウントで歩いたりしました。また、スティックやスカーフ、ボールを手にしながら、道具を使った音楽のリズム遊びをしました。こどもたちは、音楽に合わせて動きながら、自然と協力し合う様子が見られました。
ニュースポーツであそぼう	6月	1回実施、12名参加。個人競技のラダーゲッターはテクニックが必要で手首の使い方や調整に難しさを感じていました。個人戦では運動遊びでなかなか力を発揮できないこどもが1位になり嬉しそうでした。団体競技の卓球バレーは、板をスライドさせてラリーを続けていきます。テクニックは必要なく、チームの声掛けや一体感で勝利を勝ち取っていました。
犬と仲良くなろう	10月	1回実施、15人参加。犬2頭とハンドラー2人、サポーター2人来館。はじめに犬への接し方やマナー、ブラッシングやごはんのやり方などを教えていただき、2頭の犬と触れ合いました。実際に犬を飼っているこどもは2人だったので、参加したこどもたちは、大好きな犬と触れ合い、貴重な体験ができたことに、とても喜んでいました。
マグロを学んで美味しく食べよう	10月	1回実施。小学生66人参加。更生保護女性会の方5人参加。塩釜の水産振興課の方々からマグロの生態について教えていただいた後、解体ショーを見学しました。普段、見る事ができないマグロの解体、切り身になるまでの工程を見学できる事がこの行事の魅力で、継続事業ですが、前年度より菅谷台小学校ではないこどもの参加者が増加しており、こどもたちの興味・関心度の高さをうかがうことができました。実際にマグロの肌や顔、ヒレ、目玉などに触れ、その弾力や迫力などに驚くなど多くのことを学ぶ機会となりました。
プラ板制作をしよう	11月	1回実施、23人参加。こどもたちは、プラ板に油性ペンで好きなキャラクターを丁寧にかきました。トースターに入れると、プラ板が縮んでいく様子を心配しながら見詰めていましたが、完成すると満面の笑みを浮かべていました。
お楽しみ会をしよう	12月	児童クラブ児童と自由来館小中学生66人参加。サンタクロースの衣装を身につけたこどもたちが司会をして、6グループが出し物を発表しました。歌やダンス、二人羽織などを披露しました。観客もスタッフも楽しくてみんな笑顔になりました。発表したこどもたちも大喜びでした。
クリスマスキーホルダーをつくらう	12月	2回実施、13人参加。こどもたちは手本を見ながら自分のペースで制作しました。ツリーやプレゼントが描いてあるプラ板に色を塗り、氷の結晶やパール、リボンなどのパーツ、ラメなどを選びオリジナルにデコレーション。友達との会話も弾み仲良く制作しました。サクサク進めるこども、とことんこだわるこども、それぞれが自分だけのすてきなキーホルダーを作りました。去年はつくっていないので、こどもたちはとても喜んでいました。
ジュニアリーダーとあそぼう	12月	1回実施、10人参加。ジュニアリーダー2人が進行了しました。はじめは緊張した表情の参加者でしたが、関所やぶりやドッチボールなどのゲームが始まると楽しそうに参加していました。ジュニアリーダーからは、「参加したこどもたちが、いつかジュニアリーダーとして活躍することを期待しています。」の言葉をもらってうれしそうでした。
むかしあそびにトライ	1月	1回実施、小学生11人、乳幼児親子11組、シルバーライフ14人（うち更生保護女性会の方3人は両方に所属）菅谷お父さんの会4人参加。こま回し、おはじき、あやとり、紙飛行機飛ばし、けん玉などにトライしました。よく飛ばす紙飛行機の折り方や3個のお手玉のコツ、2人あやとりのやり方など、たくさん教えていただきました。遊んだ後は杵とうすで餅つき体験をしました。とても良い交流の時間になりました。

有 色 セ ル の 事 業 数 の み 入 力	自己評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	3	6	9
	提案事業	21	42	63
	自主事業	9		9
	合計	33	48	81
	町評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	3	6	9
	提案事業	21	42	51
	自主事業	9		9
	合計	33	48	69

2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（５段階）	自己評価理由	評価（％）
S	・児童健全育成事業では、小学生こどもボランティアの「これをやってみたい」、「これをやったらみんなが楽しんでくれるだろう」の意見も取り入れ、「スノードームをつくろう」や「りふーるシアター」などを実施しました。自分たちが企画して運営し、最後までやり遂げた達成感や満足感は、自己の良さに気付くきっかけになるとともに自尊感情の高揚にもつなげることができました。 ・子育て支援事業では、「おはなしのへや」や「にこにこタイム」が人気で、1月の「せつこさんのおはなし会」では、わらべうたによる親子の触れ合い遊びを行い、歌に合わせて母と子が手足、体を触れ合いながらとても良い表情（笑顔）を見せていました。親子のすてきな笑顔が印象に残っています。また、「にこにこタイム」では、「オリジナルトートバッグをつくろう」にたくさんの乳幼児親子さんが参加してくださいました。「なにつくろう〜」の歌に合わせた手遊びの後にお子さんの手形・足形をスタンプして、更にママたちが可愛いお絵描きデコレーションをしました。世界に1つだけの、今しか作れない宝物の完成にとっても喜んでいただきました。 ・地域交流事業では、菅谷台町内会、利府町民生委員児童委員、利府町更生保護女性会、菅谷台自然塾、シルバーライフ菅谷台などの地域関係団体の皆様方と、地域ならではの交流を行う事ができました。1月には、シルバーライフとお父さんの会の方と一緒に「むかしあそびにトライ！」の行事を行いました。おはじき、けん玉、こまなどの昔遊びに加えて餅つき体験をして、地域の大人と地域のこども34人が触れ合う有意義な時間をつくり出すことができました。会話も弾み、多様なものの見方や知識の共有を促すことで、安心・安全な暮らしや持続可能な社会をつくることにつながっていくものと考えています。 ・放課後児童健全育成事業では、こどもが明日も行きたくなる児童クラブになるように、7つの項目（あそび・くつろぐ・生活に必要なことをする・自主的に学習する・集団で生活するために必要なことをする・静養する）を意識してデイリープログラムを充実させ、こどもが児童クラブの時間を何となく過ごすのではなく、主体的に過ごすことができるように支援してきました。また、スタッフ間ではこどもの登所前のミーティングを大事にしており、前日までのこどもの様子、保護者とのやり取り、学校からの情報等を共有し、その日の児童への支援がより良いものとなるよう努めました。 今後も、利府町こども計画の基本理念「こどもと共にあゆむ夢と希望があふれるまち」のもと、児童館事業のより一層の工夫と充実に努めてまいります。	169%

町評価（５段階）	町評価理由	評価（％）
S	子ども達の「やってみたい」という声を大事にしながら、各種事業を行っており、多くの方々に参加して頂いていた。イベントを実施するにあたり、スタッフだけではなくこどもボランティアもうまく活用しながら、事業を展開していた。SNSも活用しながら、普段の児童館の様子や子どもたちの表情などを広く発信できていたので、引き続き積極的に発信してほしい。 なお、昨年のモニタリングで「現状に満足するだけではなく、新しい地域団体、町内保育所・幼稚園、さらには中高生等との等の交流を今まで以上に積極的に行ってほしい」と指摘していたが、今回のモニタリングでは新たな地域団体、町内保育所・幼稚園等の交流は見られなかった。安定した運営は勿論のことではあるが、新たにチャレンジすることで、今まで利用したことがなかった子ども達や、中高生の利用者増へ繋がると思うので、今まで以上に新しい地域団体や町内保育所・幼稚園等の交流をぜひ積極的に実施してほしい。 併せて、西部地区は利府西中学区（利府二小・菅谷台小）が対象となることから、菅谷台小学区のみならず利府二小学区の子どもの利用が増えるように働きかけてほしい。	144%

利府町西部児童館 モニタリング評価【収支状況シート】

利府町

評価年度

令和 7 年度

●経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	7年度予算	7年度決算	予算決算比
収入 (a)	43,753	43,753	0
指定管理料	43,753	43,753	0
利用料金収入			0
(うち、減免補填額)			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出 (b)	43,753	43,753	0
人件費	31,480	32,419	-939
事務事業費	5,360	3,716	1,644
維持管理費	950	739	211
その他の支出	5,963	6,879	-916
収支 (a)-(b)	0	0	0
備 考			